

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 12 月 11 日作成)

小委員会名	JASS 3・4 改定小委員会	主 査 名：野田和政 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会	委員長名：早川光敬 主 査 名：
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行の JASS3・4(第6版)は 2009 年に刊行され、すでに 7 年経過しており改定に向けた準備段階に入っている。 ・ 2015 年に発生した既製杭のデータ一流用等の問題の防止および品質確保のほか、昨年に改定された『山留め設計指針』、今後改訂予定の『建築地盤アンカー設計施工指針・同解説』、『建築基礎のための地盤改良設計指針案』、『建築基礎構造設計指針』に対しても対応する必要がある。 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
設置 WG (WG 名：目的)	JASS3 改定 WG JASS4 改定 WG	
2017 年度予算	195,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 既刊指針との整合性も考慮した改定のポイント・変更・追記箇所の確認。 2. 改定の目次、本文骨子の作成。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 『山留め設計指針』『建築基礎構造設計指針』では JASS34 を参照する箇所があり、それを受けた記載が必要。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。